



笑顔のためにできること

日出学園中学校 二年 西潟 琴音

小学校の頃、朝になって学校に行く時に毎日笑顔で「おはよう。」「と言われ自然に自分も笑顔で咄嗟に「おはようございませす。」と言っていた。この時に何となく幸せな気分になれ、あいさつは大切なんだと気がついた。私は社会が明るくなるために大事なことはあいさつだと思った。

まず、あいさつは人と人をつなぐコミュニケーションや交流の第一歩だと思う。だから地域のつながりも得ることができ、仲が深まる。仲が深まり人と人が関わることで助け合いや思いやりが生まれる。例えば、ひきこもりやいじめなどで悩んでいる人の手助けやボランティアをして、明るく良い街にすることができると思う。例えば、犯罪でいうと空き巣やひったくりがある街も少なくはない。そのような犯罪をする人に、あいさつをすることによって犯罪することをあきらめる人が多いという

データもあるので、ちょっとしたあいさつでも犯罪が少なくなるきっかけにつながる。

三年生の最初の頃、色々な友だちと仲良くなりたいたいと思いつき、しかし急に話しかけられなかったので最初はあいさつからしようと思いついた。「おはよう。」「と言いつ事を心掛けた。どうしたら良い印象をもってもらえるかと思いつき、笑顔で相手の目を見てあいさつしてみた。すると私の名前を呼んであいさつしてくれる友だちが増え、そこであいさつの重要性に気がついた。

私の母は幼稚園の先生でいつでも笑顔であいさつを常に心掛けていて、毎朝多くの保護者の方に笑顔であいさつをする。その時にいつも保護者の方も笑顔であいさつしてくれ、毎朝朝から笑顔になれる。ある時に一人の保護者の方から「先生がいつも笑って毎朝あいさつしてくれれば自分も笑顔になれるよ。」

と言ってくれ、その時にすべへくうれしく幸せな気持ちになるという話を聞いた時に、またあいさつの大切さが高まった。もう一つ私の母が言っていた話で、毎朝通勤ですれ違う人がいて、最初は何も言わずにすれ違っていたけど、ある日勇気を出して朝にあいさつしてみる事にした。そしてあいさつしてみたら相手の方は笑顔であいさつを返してくれた。その時すごい幸せな気持ちになれたぞうだ。この2つの母から聞いた話はとても印象深く、あいさつで笑顔になれ、幸せな気持ちになることができることを知り、よりあいさつの大事さをまた知れた。

英語でHELLO、中国語で你好、フランス語でbonjour。聞き慣れた言葉だと思う。なぜなら外国語を覚える時はまずあいさつから覚えることが多い。外国語が喋れない人でも、外国人との交流はまずあいさつからだと思う。外国人でも笑顔であいさつすることで喋れなくなってお互い幸せな気持ちになれるのではないかなと思った。

実体験や見聞を得てあいさつだけでも幸せになる。あいさつとは何のつながりが感じられないと思う犯罪もしっかり考えてみると、少しでも犯罪が少なくなるきっかけにつながると思う

た。あいさつとは遠いと思っていた外国人との交流もあいさつが大事だった。あいさつは身近な幸せや笑顔にたくさん関わっている。私は笑顔のためにできることはあいさつだと思つ。社会が明るくなるために大事な事もあいさつだと思つた。